

輝け おおや

～大屋まちづくり便り～

広報第62号
令和8年3月26日発行
大屋まちづくり協議会
大屋まちづくりセンター



交流施設「きずな」

ファミリーコンサート絆 in大屋を開催

「ファミリーコンサート絆 in大屋」が10月25日（土）地域交流施設「きずな」で開催されました。10月にしては肌寒い日でしたが、会場には50余人の方で満員となり熱気で暖かく、北崎一恵さん（フルート）・小川碧さん（ピアノ）の巧妙な語りと、「子犬のワルツ・アラベスク第一番・白鳥・四季より冬 また大屋町ゆかりの林春生作品（サザエさん・京都慕情他）」を演奏されました。

最後には「ブラボー！」「アンコール！」の声があがり大盛況のうち公演は終わりました。また「カフェきずな」の売り上げにも貢献し持続可能な事業の一步となりました。

今後もいろいろなイベントを企画開催し施設の稼働率を上げると共に地域の活性化と交流拠点施設として頑張ってもらいますので、ご支援よろしくお願いたします。



季節の花

ら春にかけ小枝の枝の先に、5〜7cmの花弁が合着した赤い花をつけます。藪椿の雄しべは柱頭が3〜4に分かれ、多数で基部で合着しており咲き終わった花（花弁と雄しべ）は一緒に落花します。ちなみに花言葉は「気取らない優美さ」「控えめな美点」とされています。

藪椿は照葉樹林に自生するツバキ科の常緑樹で、野生の原種であることを強調する際「藪に生えるツバキ」↓「藪椿」と称されています。冬か

藪椿
やぶ つばき



大屋路はいつ春にならむ藪椿
紅き花咲きみちにこぼれぬ
佐藤徳郎



「自主運営組織 西日登振興会」視察



3月15日（日）雲南市木次町「自主運営組織 西日登振興会」より総勢16名で大屋町に視察に来られました。

西日登地区の地域自主組織「西日登振興会」は、みんなで作ろう『和みの里・西日登』を旗頭にし、豊かな自然と環境に恵まれ、長い歴史と文化に彩られた地区を守り、子供たちや高齢者の方が安心して暮らせるよう頑張っておられます。

またスサノオノミコトの神話伝説「ヤマタノオロチ退治」と伝統文化の西日登神楽社中がある、大屋町と似通ったところのある地域です。

西日登振興会よりの質問

- ・お祭りの準備企画について
- ・買い物支援について
- ・大屋ふれあい文化祭について
- ・地域交流施設の利用状況について



以上について、説明し現状を報告しました。

質疑応答では自治会輸送による買い物支援・自治会輸送の仕組み・車両の維持管理について質問が多く出ていました。現状、両地区に共通する課題は少子高齢化による人口減少と高齢化率の上昇による各事業の担い手不足でした。

最後に西日登振興会会長より「本日の自治会輸送の運用の仕方・地域交流拠点施設「きずな」の運営を視察でき参考となりました。今後機会があれば、西日登へおいで下さい」との挨拶をされ、大屋町を後にされました。



また昼食を「カフェきずな」で食べていただき、食後に「ご馳走様でした」「おいしかったよ！」と

言葉をかけられ、スタッフは嬉しそうに「有難うございました」と答えていました。